

スムーズな授業運営と出席率アップに
講義出欠管理システム



非接触型カードをかざすだけで簡単に出席の登録ができます。

大人数収容で出入り口の多い部屋や実験室、セミナー会場など、大学の講義では使われる教室もさまざまです。点呼や手書き用紙による出欠確認は、特に受講者の多い講義や実習などで講師や教務の担当者に大きな負担となっています。『講義出欠管理システム』は、非接触型カードや携帯電話の情報を読みとり、自動的に出席登録を行うシステムです。学校側の負担を軽減するだけでなく、学生の出席率の向上や遅刻を減らすうえでも大きな効果を発揮します。

出席受付

導入しやすく操作が簡単な端末を利用

講義出欠管理システムは、端末を起動するだけで出席の受付を開始します。端末にはウィンドウズOSのパソコンか、専用カードリーダー(WB-1S)を使用するため、難しい操作を覚える必要はありません。読みとった出欠情報はリアルタイムでデータベースに格納されるので、端末がパソコンの場合は、出席者の氏名や人数などの出席状況を画面上で確認することができます。



カードをかざすだけで登録できます

携帯電話でも登録ができます

管理機能

充実したメンテナンス機能

出席者の氏名表示など、端末の受付画面を切り替えることができるほか、授業中に受講生が指名できる指名情報参照機能、出欠状況が照会できる機能、個々の学生の出欠履歴の確認など、多彩な機能で講師をサポートします。また、講義マスタや学生マスタ、学期マスタなど充実したメンテナンス機能を備えています。





出席率UP

学生のモチベーションを高め、受講率アップに貢献します

過去の実績では、システムの導入後、受講生の出席率が上がる傾向があります。また授業の開始手続きや進行が円滑で、遅刻する学生も大幅に減少します。



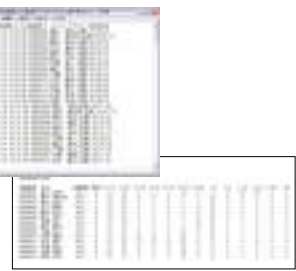
オプションで出欠情報を公開

センタサーバで集計された情報は、細かなアクセス制限を設定したうえで、学内の専用端末で公開することも可能です。学生自身の出欠確認にも役立つほか、講義への動機付けにもなります。さらにシステムの拡充を図ることで、自宅のパソコンや携帯電話からも閲覧することができるようになります。

データベース

集計・基礎データとして活用できます

出席情報は、センタベースサーバに送られて、自動登録されます。集められたデータは取り出しや整理分析も簡単にできるため、講義別の集計やその他のデータベースと連動させた解析など、さまざまな形で情報をいかすことができます。



専用カードリーダー

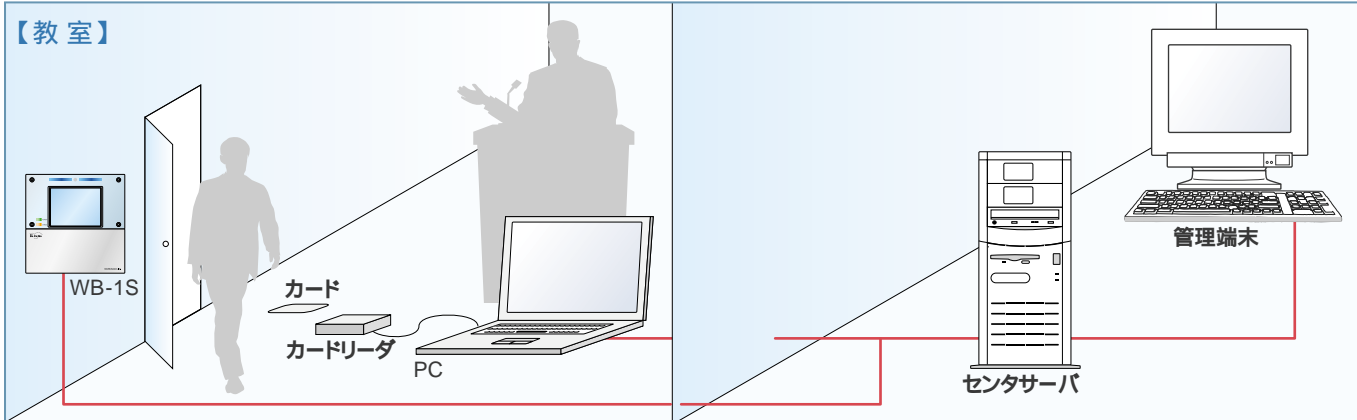
外部でも使える専用リーダライタ

非接触型カードリーダライタWB-1Sは、コンパクト筐体にバッテリー搭載可能なので、戸外や学力で行われる講義の出欠管理にも利用できます。また壁面にも据え付けられるため、教室やドア付近などさまざまな場所に設置できます。



非接触型カードリーダライタ WB-1S(オプション)
サイズ 幅160×高さ160×奥行50(mm)
本体重量 約1kg

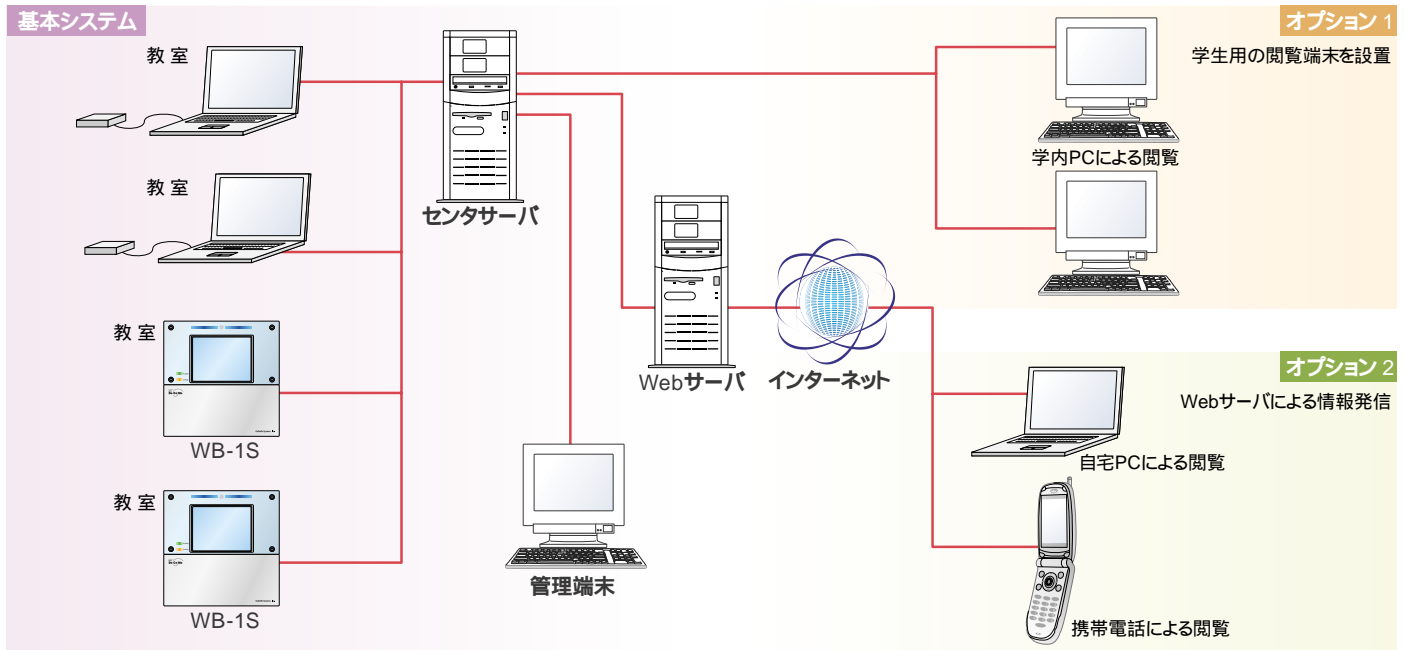
システム基本構成



出席登録 ▶ カード読み取り ▶ 教師によるシステム起動・画面操作 ▶ 出席情報の自動登録 ▶ 出欠情報の管理・データ分析

講義出欠管理システム

インターネットとPC環境でシステムが構築できるため拡張性にすぐれており、さまざまなニーズに対応します。以下のオプション以外にも図書館での図書貸出や利用状況の確認、学校内外での電子決済など、さまざまなシステムとの関係も可能です。



システム費用

基本費用	
基本システム一式	¥1,500,000
・ソフトウェア(CD-ROM)	端末ライセンスフリー
・操作マニュアル	
講義用端末ソフトの設定費用 ¥10,000 / 1台	
オプション1の構成費用	
表示プログラム	¥50,000(10台まで)
オプション2の構成費用	
表示プログラム	
・対応携帯電話(ドコモ / au / ソフトバンク)	¥300,000
・パソコンソフト(Internet Explorer)	

メンテナンス費用

初年度	システム費用16%(導入から1年間)
次年度以降	システム費用10%(年間)

システムに関するお問い合わせやご相談を承ります。 学期開始前にマスターデータの設定支援を行います。 マスターデータの復旧支援を行います(年1回まで)。ハード障害による再設定の費用は含んでいません。 メンテナンスの対象となるソフトウェアは弊社がインストールしたものに限り。 詳細は別途お問い合わせください。

動作環境

センタサーバ	OS: Microsoft Windows 2000 Server以降 CPU: Pentium 2 GHz以上 メモリ: 1GB以上
管理端末 / 講義端末	OS: Microsoft Windows 2000 以降 CPU: Pentium 1 GHz以上 メモリ: 256MB以上
通信環境	TCP/IP通信が可能であること

必要機器

基本構成	
センタサーバ(SQL Server)	1台
管理端末	1台
講義端末(パソコン / WB-1S)	必要台数分

オプション 1: 学生用の閲覧端末を設置	
学生用閲覧端末	必要台数分

オプション 2: Webサーバによる情報発信	
Webサーバ	1台

必要機器の見積もり(セットアップを含む)は別途申し受けます。

ソフト機能一覧

基本システム	
出欠情報管理機能	・出欠情報メンテナンス ・出欠情報照会
マスタ情報管理機能	・学期マスタ ・学生マスタ ・教員マスタ ・履修マスタ ・講義マスタ ・学生カードマスタ
システム情報管理機能	・取込ログ確認

オプション	
オプション 1	・出欠履歴確認機能(学生閲覧端末用)
オプション 2	・出欠情報WEB確認機能

本カタログに記載の仕様は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。WB-1Sはドコモ・システムズ株式会社の登録商標です。Windowsは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください

大明株式会社

システムソリューション事業部
〒261-8501 千葉県美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンB-9 TEL(043)296-6321
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-43 西本町ソーラービル3F TEL(06)6110-1500
<http://www.daimei.co.jp>

